

# 失語症の予後予測のため、当院に入院された患者さんの基本情報 や検査データを用いた医学系研究に対するご協力のお願い

研究責任者	所属	リハビリテーション部
	職名	言語聴覚士
	氏名	土佐林有紀
	連絡先電話番号	047-453-9000
実務責任者	所属	リハビリテーション部
	職名	言語聴覚士
	氏名	土佐林有紀

このたび当院では、上記のご病気で入院された患者さんの基本情報や検査データを用いた下記の臨床研究を、当院倫理審査会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2016 年 1 月 1 日より 2021 年 4 月 30 日までの間に、リハビリテーション科にて失語症の治療のため入院し、リハビリを受けた方。

## 2 研究課題名

承認番号 279-2

研究課題名 回復期リハビリテーションにおける退院時の言語機能の予測  
—失語症の改善と高次脳機能との関連—

## 3 研究実施機関

東京湾岸リハビリテーション病院 (研究責任者：土佐林有紀)

## 4 本研究の意義、目的、方法

意義：失語症の回復に関わる因子を明確にし、回復期リハビリテーション病院退院時の言語機能をより正確に予測できるようにすることで、退院に向けてより効率的な介入が可能になります。

目的：失語症の回復に関連する因子を明らかにし、回復期リハビリテーション病院退院時の言語機

能を、入院時に予測できるようにします。回復期リハビリテーション病院入院中の失語症患者を対象として、入院時・退院時 SLTA 得点および失語症の回復に影響のある入院時の因子について検討します。

方法：診療録より、年齢・性別・疾患名・病巣・発症日・入院日・退院日・入院期間・転帰先・FIM 得点・SIAS 得点・SLTA 得点・その他の高次脳機能検査データ（コース立方体組み合わせテスト、RCPM、CAT、ベントン視覚記銘検査）を抽出します。相関分析や重回帰分析を行い、失語症の回復に影響を与える因子を明らかにし、退院時の言語機能の予測が可能かを検証します。

## 5 協力をお願いする内容

診療に関する診療記録、年齢・性別・疾患名・病巣・発症日・入院日・退院日・入院期間・転帰先・FIM 得点・SIAS 得点・SLTA 得点・その他の高次脳機能検査データ（コース立方体組み合わせテスト、RCPM、CAT、ベントン視覚記銘検査）の情報開示

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2022年12月31日

## 7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの基本情報や検査データなどは、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した基本情報や検査データなどを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の研究機関等には一切公開いたしません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、試料・情報の利用や他の研究機関への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

対応者：土佐林有紀 所属：リハビリテーション部 連絡先：047-453-9000

以上